

走水・馬堀地域の教育環境整備の検討について

案	協議会委員の意見等	事務局の見解
案 1 (事務局提案) 走水小学校区の全区域を馬堀小学校区に編入する。	【通学や通学路について】 ○保護者は、統合後、低学年が通学できるか、スクールバスなのか、路線バスなのか、通学補助は出るのかななどを心配しています。 ○通学区域が変わることで、通学距離が遠くなることが心配です。 ○3kmの通学距離に、急な坂道があるようなところでは、居住地として走水以外を選ぶケースが増え、走水地域が廃れていくリスクがあります。それを行政は覚悟しているのでしょうか。 ○走水地域には信号のない横断歩道がありますので、安全対策の検討が必要だと思います。	【通学や通学路について】 ○通学上、危険があるのであれば対応が必要であると考えています。
案 1 (参考) (事務局提案) 走水小学校区の全区域を鴨居小学校区に編入する。		
案 2 (委員意見) 走水小学校区を現状のまま存続し、定住促進策を講じてはどうか。	【走水の地域や環境について】 ○走水は、子どもを育てるにはよい環境です。走水小には、他の小学校にないものがあります。プールが無いために海で泳いだり、海の幸集会やサツマイモを育てて食べたり、ホテルの里の整備や稲作なども行っています。地域との関わりが減ってしまう不安もあります。 ○走水地域は小学校と地域が一体となって支えられているので、検討に当たっては、教育の面だけではなく地域の面からも考えていただきたいです。 ○走水は人を呼び込める環境が整っています。市として、若い世代を増やすなどの対策を行ったほうが良い。 【学校規模について】 ○人数の多い小学校に通うのを辛く感じ、小規模校のような環境を必要としている子どももいることを認識してほしいです。 ○走水小学校に通う子どもたちは、小規模校ならではのデメリットを感じているとは限らないと思います。 ○小規模校の出身ですが、大きなハンディキャップは感じませんでした。 ○一定程度の児童数がいれば、児童同士でさまざまな考え方に触れることで、コミュニケーション能力の向上が期待できると思います。 ○新しい教育指導要領のもとでは、子どもたちが主体的になって意見を出し合いながら解決していく学び方になっていますので、少人数の学級では、このような学び方が難しくなります。 ○小規模特別認定校制度を導入することで、走水小学校を不登校児童の居場所とすることができればいいと思います。	【走水の地域や環境について】 ○走水の環境の良さは理解しています。より多くの子どもたちの教育のために活用できれば良いと考えています。 ○少子高齢化により、出生数よりも死亡数が多くなっており、人口増は見込めない状況がある中で、教育環境の整備を検討していく必要があります。 【学校規模について】 ○人間関係や教育の内容から一定の規模は必要であると考えています。